

八幡支援学校だより

第 3 号
平成22年4月13日発行
八幡市内里柿谷16-1

地域の障害のある子どもたちの教育のセンター的役割を持って特別支援教育を推進
全国初の試みとして高等学校と同一敷地内に設置し交流及び共同学習を推進

京都府立八幡支援学校の開校を宣言！

ごあいさつ

八幡支援学校は、校区の障害がある子どもたちの教育のセンターとしての役割を担うとともに、高等学校と同一敷地内に設置し、交流及び共同学習をすすめていくという、全国で初めての試みとなる支援学校として出発します。

本校の教育目標は「つながり、チャレンジ（挑戦）する子どもたち・学校」としています。

人と人、学校と学校 学校と社会、現在から未来・・・子どもたちに「つながり」を大切にしてほしい。

子どもたちには無限の可能性がある。学びを通して、自ら挑戦することで、未来を切りひらく力をつけてほしい。

という願いをもって設定しました。

学びを通して、平和・人権を大切にする子どもたち、スクールパートナーである高校生をはじめ、仲間を大切にする子どもたち、地域を大切にする子どもたちを育てたいと思います。

八幡支援学校としても、子どもたちとともに、つながり・チャレンジする学校として、出発していきたく思います。

八幡支援学校の児童生徒のみなさん。

さあ、今日から、君たちと一緒に楽しい学校を一緒に作っていきましょう。これから始まる新しい学校生活を力強くスタートするみなさんの活躍を大いに期待しています。

私どもは、本校の教育目標を達成すべく、日々の授業を大切にしていきます。保護者の皆様には、本校教育の



御理解と御協力を御願ひし、子どもたちの成長を見守っていただきたいと思います。よろしく御願ひ申し上げます。

平成22年4月13日

京都府立八幡支援学校長 山田 和孝

校章について



二羽の鳩を中心に配置し、美濃山地域で大事に育てられている竹の切り口で全体を囲み、学校教育目標にある「つながる」ことをイメージしました。

「つながる」内容のキーワードである、「Shien(支援)」の「S」、「つながり」の場である「School(学校)」の「S」を、つながりを結ぶ役割の象徴としてデザインしました。